

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実	施策の目的	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	施策	高齢者福祉
-------	-------------	-------	----------------------	----	-------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
地域包括ケアシステムの充実	高齢者総合相談窓口の運営	幸せ長寿課
高齢者福祉施設の充実	常総市介護保険施設等整備事業	幸せ長寿課
生活支援と介護予防の充実	高齢者見守りサポート事業	幸せ長寿課
介護保険制度の適切な運用	介護保険給付事業	幸せ長寿課
生きがい、就労対策の充実	シルバークラブ活性化事業	幸せ長寿課

目標

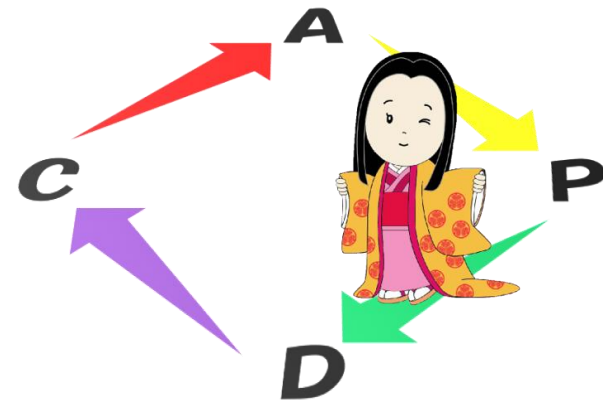
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
高齢者福祉に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	22.1%	27.1%
介護予防推進員の人数	地域で介護予防教育や相談を行うボランティアの人数	増員により活動未実施地区の減少を目指す。	218人	300人

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと生活することができるように生活を支援することは大切である。地域包括支援センターを中心として、高齢者の生活支援・介護予防・介護保険サービス等の利用促進を更に進めていただきたい。高齢者総合相談窓口の認知度は低いように思われるため、広報、告知の手法については、常に検討していただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	高齢者総合相談窓口の運営			
担当	幸せ長寿課			
予算科目	介護保険特別会計			
	3款	3項	1目	2事業
事業の目的	住民の利便性を図るために設置した高齢者総合相談窓口及び休日・夜間高齢者相談窓口について、適切な運営を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	高齢者福祉
施策の方向	地域包括ケアシステムの充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	8,400千円
	うち 特定財源	6,783千円
成果目標		150 件
実施内容と改善点		
地域の社会資源を担う介護施設等に委託し、休日・夜間相談窓口を1か所、中学校区毎に高齢者総合相談窓口を6か所設置している。相談窓口利用者を増やすため、市民へ向けた更なる周知が必要となっている。		

令和2年度	決算額	8,400千円
	うち 特定財源	6,783千円
成果実績		121 件
当初の成果目標		— 件
実施内容と改善点		
地域の社会資源を担う介護施設等に委託し、休日・夜間相談窓口を1か所、中学校区毎に高齢者総合相談窓口を6か所設置している。令和2年度は、市民の認知度を上げるため、市内の医療機関や薬局等、約80カ所に高齢者総合相談窓口ポスターの掲示を行なった。		

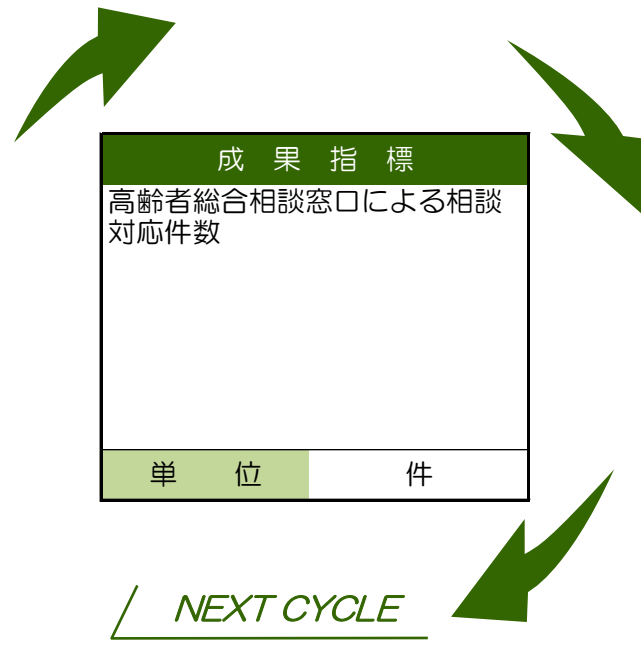
令和元年度	決算額	8,373千円
	うち 特定財源	6,761千円
成果実績		89 件
当初の成果目標		— 件

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	令和2年度は前年度より相談件数は増加したが、窓口によっては相談件数が少ないところがあり、各相談窓口によって相談件数に偏りがある状況となっている。
分析	医療機関等へのポスター掲示が相談件数増加に一定の効果があったため、今後も本事業の周知に努めていく。また、今後は必要に応じて訪問対応を行なうことが出来るようにするなど、費用対効果を踏まえた委託内容の見直しを図り、本事業の更なる充実に努めていく必要がある。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		件
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
件		件

事業の説明

事業名	常総市介護保険施設等整備事業	
担当	幸せ長寿課	事業の目的 高齢者の取り巻く社会情勢を見極めながら、高齢者の状態に合わせた多角的な施設整備を進めていく。
予算科目		

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	高齢者福祉
施策の方向	高齢者福祉施設の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	—
	うち 特定財源	—
成果目標		894 床
実施内容と改善点		
第7期計画中の動向他、令和2年度に実施したモニタリングを踏まえた第8期介護保険事業計画においては、利用者数は横ばいに推移することに見込んでおり、令和3年度における整備計画はない。		

令和2年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		894 床
当初の成果目標		894 床
実施内容と改善点		
第8期介護保険事業計画に向け、近隣市のサービス種別ごとの施設整備状況、施設数、ベッド数、高齢化率及び認定率のモニタリングを実施した。		

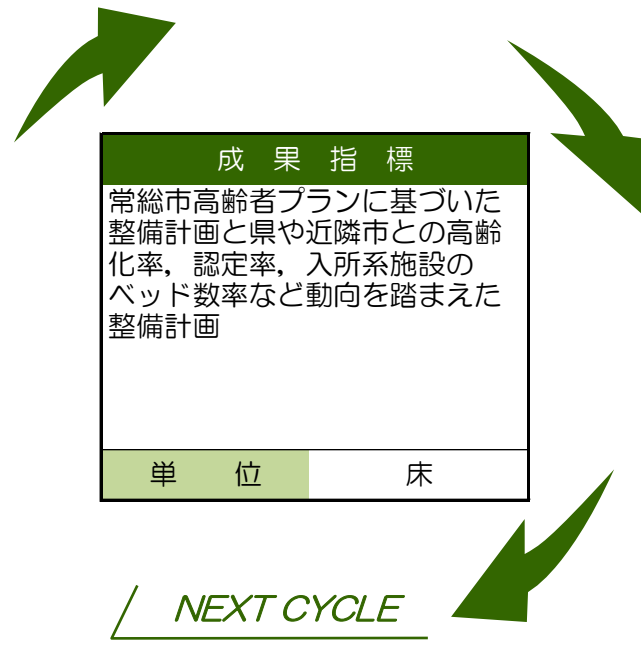
令和元年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		885 床
当初の成果目標		885 床

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	モニタリングの結果では、当市は近隣市と比較して保険者1人当たりのベッド数の比率は高い方であるが、施設に対する要望は高いため、必要とされる施設整備を見極め、計画を見直していく。			
分析	R2.8月	被保険者数	ベッド数	比率
	常総市	18,378	885	20.8人/床
	下妻市	12,173	545	22.3人/床
	つくば市	46,378	2003	23.2人/床
	守谷市	15,741	477	33.0人/床
	坂東市	15,849	563	28.2人/床
	つくばみらい市	13,714	314	43.7人/床

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		床
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
床		床

事業の説明

事業名	高齢者見守りサポート事業			
担当	幸せ長寿課			
予算科目	介護保険特別会計			
	3款	3項	2目	8事業
事業の目的	ひとり暮らし高齢者等に対し、高齢者見守りサポート事業を実施することにより、在宅高齢者の見守り体制強化を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	高齢者福祉
施策の方向	生活支援と介護予防の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	7,848千円
	うち 特定財源	6,337千円
成果目標		300 人
実施内容と改善点		
民間委託により、ひとり暮らし高齢者等に緊急通報システムを貸与することで、緊急時の消防への通報、お元気コールと呼ばれる定期的な電話連絡、健康相談に対応している。今後は、見守りを必要とする高齢者がいつでも利用できるよう更なる周知に努めていく。		

令和2年度	決算額	3,469千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		243 人
当初の成果目標		— 人
実施内容と改善点		
民間委託により、ひとり暮らし高齢者等に緊急通報システムを貸与することで、緊急時の消防への通報、お元気コールと呼ばれる定期的な電話連絡、健康相談に対応している。令和2年度は、緊急時対応が困難であった愛の定期便事業を廃止し、見守り体制が強化された本事業への統合を進めた。		

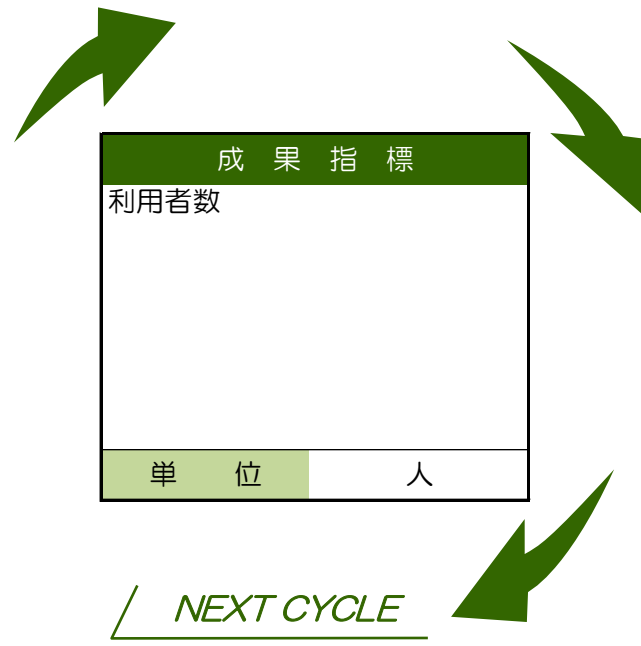
令和元年度	決算額	1,573千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		178 人
当初の成果目標		— 人

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	民間委託により本事業を開始したことにより、緊急通報時の救急車要請、かけつけサービス、様々な相談に応じる相談窓口等、24時間365日高齢者をサポートする体制が整ったことから、高齢者の安全・安心に繋がっている。
分析	より多くの高齢者に本事業を活用していただけるよう更なる周知に努めていくとともに、見守りを必要とする高齢者にとって利用しやすく、また、安全・安心な生活を送っていただけるよう、本事業の更なる充実を図っていく必要がある。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

事業の説明

事業名	介護保険給付事業	
担当	幸せ長寿課	事業の目的 介護保険事業計画に基づき、適切なケアマネジメントにより要介護・要支援者に個人の尊厳と自立した日常生活を支援するために介護サービス・介護予防サービスを提供する。
予算科目	介護保険特別会計	
	2款	

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	高齢者福祉
施策の方向	介護保険制度の適切な運用

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	4,988,241千円
	うち 特定財源	4,299,801千円
成果目標		95.0 %
実施内容と改善点		
令和3年度の介護給付費の利用状況と介護給付額を把握すると共に、第8期介護保険事業計画に基づく令和3年度介護給付費の見込額(5,087,188千円)と比較する。		

令和2年度	決算額	4,899,937千円
	うち 特定財源	4,354,880千円
成果実績		93.7 %
当初の成果目標		95.0 %
実施内容と改善点		
第7期介護保険事業計画に基づく令和2年度介護給付費の見込額(5,224,172千円)である。また、令和2年度介護給付費の実績額(4,894,218千円)であり、特定財源は当該実績額の負担割合に基づき次年度に差額が調整される。【主な介護給付費の利用実績】居宅サービス(2,054,349,917円)地域密着型サービス(546,130,261円)、施設サービス(1,867,329,514円)		

令和元年度	決算額	4,833,122千円
	うち 特定財源	4,300,885千円
成果実績		96.1 %
当初の成果目標		95.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	給付実績額(4,899,937千円)÷第7期介護保険事業計画見込額(5,224,172千円)≒93.7%
分析	第7期介護保険事業計画と比較すると、令和元年度から介護療養型医療施設が医療に転換したことから、介護給付が減っており、また施設サービスの利用が下振れした。しかしながら、当該事業計画としては、大きくかい離することなく適正に推移している。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

成果指標	
介護保険事業計画に基づく見込額が、適正に推移していることを確認する。給付実績額÷介護保険事業計画見込額=85%以内であれば、適正と判断する。また、成果指標が100%を超える場合には、保険料が不足することから、適正ではない。	
単位	%

【Plan】今後の計画

令和3年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	シルバークラブ活性化事業			
担当	幸せ長寿課			
予算科目	介護保険特別会計			
	3款	2項	1目	1事業
事業の目的	クラブ単位の活動を通して健康意識の向上、介護予防及びクラブ活動の活性化を図り、シルバークラブ会員数の維持・増加を目指す。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	高齢者福祉
施策の方向	生きがい、就労対策の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	970千円
	うち 特定財源	849千円
成果目標		8クラブ
実施内容と改善点		
モデルクラブである3つのシルバークラブに介護予防活動の一環として理学療法士の専門職等を派遣し、ウォーキング研修を実施。また今後、介護予防推進員が所属するシルバークラブに対して、健康指導や講話等を予定。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

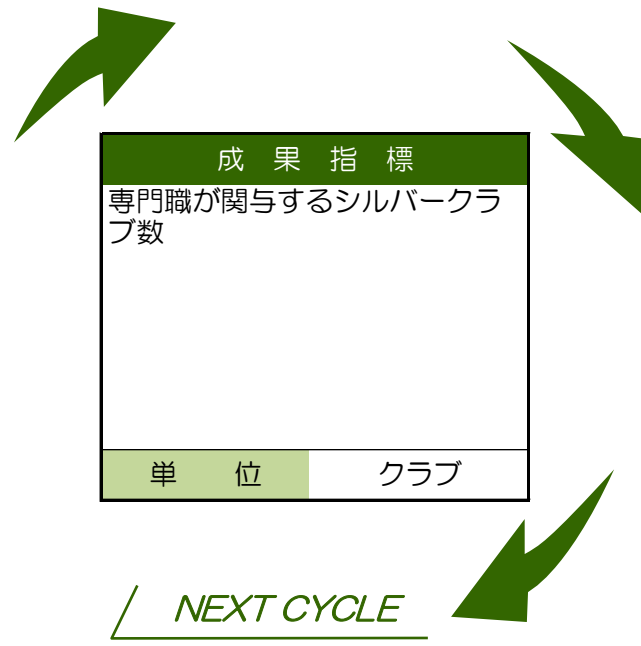
評価	シルバークラブの運営費として、県・市より補助金を交付しているが、シルバークラブの活性化には至っておらず、シルバークラブ数・会員数は年々減少傾向となっている。
分析	会員の高齢化からシルバークラブの活動が困難となり、シルバークラブが存続できなくなっている。今後、シルバークラブを存続させていくためには、魅力ある活動でシルバークラブを活性化させるよう支援していく必要があると考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		—クラブ
当初の成果目標		—クラブ
実施内容と改善点		
令和3年度からの事業であるため、令和2年度は実施していない。		

令和元年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		—クラブ
当初の成果目標		—クラブ



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		クラブ
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
クラブ		クラブ